

令和7年度 学校努力点について

1 研究主題

子ども中心の学びの実現

～本物のヒト・モノ・コトと出あいと4領域8能力の可視化を通して～

2 主題設定の理由

本市では、令和7年4月より全ての小中学校で「キャリアタイム」が導入される。「キャリアタイム」とは、「実社会で活躍する本物のヒト・モノ・コトとの出あいや日ごろの授業などを通じて、子どもたちが自分の「好き」や「できる」を大切にしながら、人生の多様な選択肢の中で、自分らしい生き方を実現する力を身に付ける時間」である。

「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」では、基本的方向Ⅰの施策2として「キャリア教育の推進」が挙げられおり、ヒト・モノ・コトと出あう機会を提供しながらキャリア教育を推進していく必要があるとされている。

本校では、これまでも本物のヒト・モノ・コトと出あうために、低学年では、生活科の学習で、町たんけんに出掛けたり区内の図書館へ行ったりして働く姿を見学している。高学年では、総合的な学習の時間で、農業協同組合（JA）と連携して校内で米作りをしたり、区の環境事業所と連携してごみ収集車を見たりしている。これらの取組は、「キャリアタイム」に欠かすことができない「本物のヒト・モノ・コトとの出あい」であり、継続するとともに機会を増やしていきたい。一方で、取り組んだ後の振り返りにおいて、基礎的・汎用的能力（4領域8能力）【資料1】が意識できていなかったことがあった。

そこで、「キャリアタイム」を充実させ、児童に基礎的・汎用的能力を身に付けていくために、今年度の学校努力点では、学校努力点推進の重点を以下のように設定する。

① 本物のモノ・ヒト・コトと出あう

- ・ 校外に出掛けたり外部講師を招いたりして、実際の姿を見たり聞いたりする。
- ・ 「ミラトラ（名古屋市教育委員会キャリア教育推進センター）を活用し、学習する。

② 学校行事と学年行事での振り返り

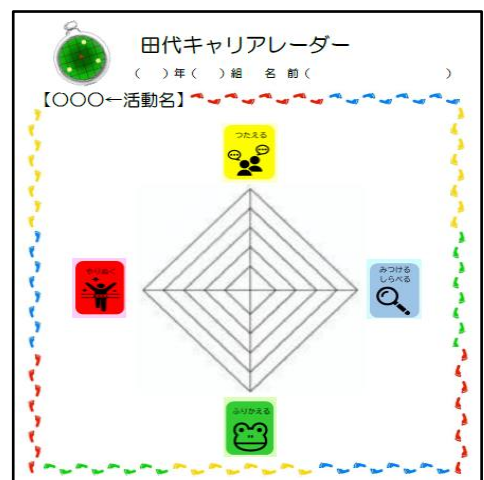
- ・ 「田代キャリアレーダー【資料2】」を活用した振り返りを行い、身に付けた基礎的・汎用的能力を見える化する。
- ・ 「田代キャリアレーダー」を、キャリアパスポートに綴り、自分のキャリアを積み重ねる。

③ 日々の授業での価値付け

- ・ 日常の授業で、基礎的・汎用的能力8種のフラッシュカードを提示し、学習していることが、どの力につながっているか価値付ける。これらに重点を置き、基礎的・汎用的能力の育成を目指していく。



【資料1】 基礎的汎用的能力（4領域8能力）



【資料2】 「田代キャリアレーダー」の一例